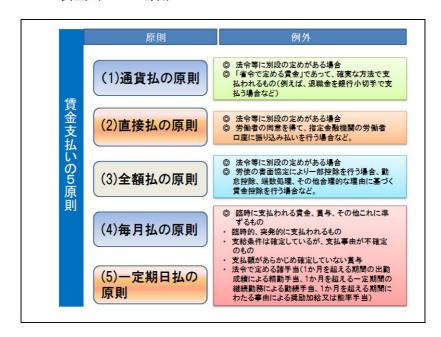
7-3 賃金支払いの5原則



労働基準法第24条は、賃金の支払に関して5つの原則を定める。

すなわち、賃金は「①通貨で、②直接労働者に、③その全額を、④毎月一回 以上、⑤一定の期日を定めて」支払うべきものであり、これを賃金支払いの5 原則という。

労働者にとって重要な生活の糧である賃金が確実に支払われるようにする ための対策を講じたものである。

なお、賃金支払い5原則には図表7-4に示すような例外的取扱いが認められている。

以上のほか労働基準法には、賃金の支払方法に関して、「非常時払い」(22条)、「出来高制の保障給」(27条)の規定が置かれている。